LS500／LS500h　"F SPORT PARTS（MODELLISTA）"

サイドスカート　　取付要領書

設定型式:VXFA5#-AEUQT/GVF5#-AEVQH　設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**サイドスカート**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
■商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
■両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**
(PACﾌﾟﾗｲﾏｰN200を本品に添付)
重要　プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で１０分間以上放置し乾燥させて下さい。**
重要 ■両面テープは、外気温が**１５℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
■両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、シリコンオフ等で完全に拭き取って下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を充分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、シリコンオフ等で脱脂をきちんと行なって下さい。
重要 ■**両面テープの圧着を充分に行なって下さい。500kPa(5kgf/cm²以上)**
重要 ■フェンダーアーチ部等の**ビス本締めは両面テープ貼り付け後３時間以上放置後**行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

■**サイドスカート**が、車両ロッカーパネルに確実に共締めされているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着**されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**サイドスカート**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低３時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
（両面テープの剥がれ、車両と**サイドスカート**との間に隙間が発生する恐れがあります。）

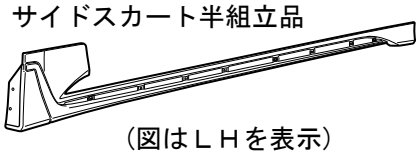
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

LS "F SPORT PARTS (MODELLISTA)"

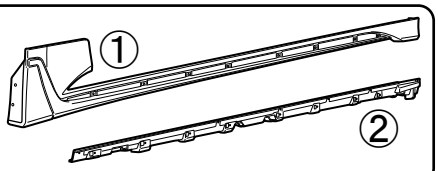
サイドスカート　（品番：D2611-54810-XX）
（品番：MSD44-50001/2-XX）

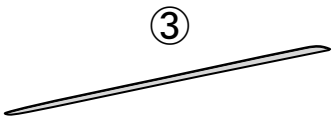
構成部品

サイドスカート半組立品



（図はＬＨを表示）





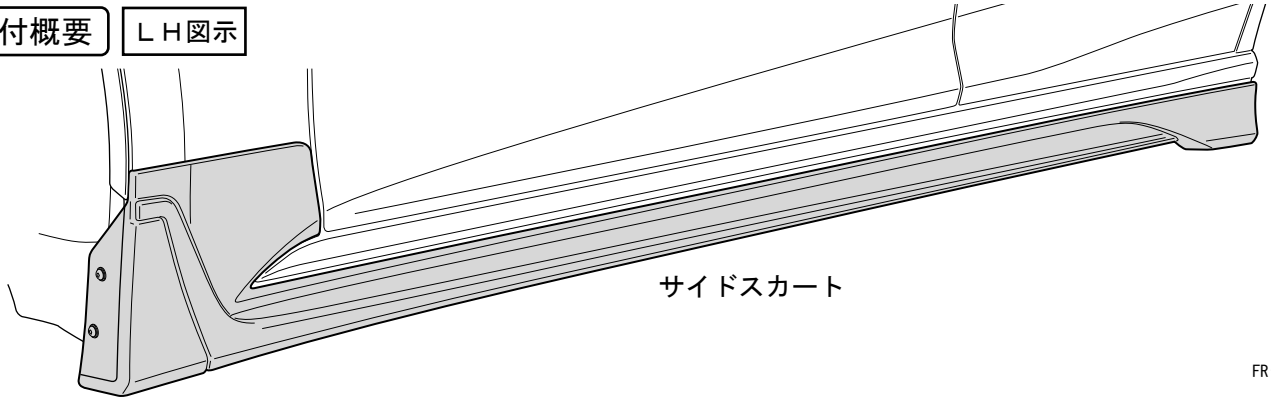


（※先端が平ら）

No.	品　　名	個数
①	サイドスカート（LH/RH）	1set
②	リテーナ（LH/RH）	1set
③	プレート（LH/RH）	1set
④	Ａタッピングスクリュー(M4×12)	２０
⑤	Ｂタッピングスクリュー(M4×11)	１６※
⑥	Ｕナット（M4）	１６※
⑦	リテーナ位置確認ゲージ	1
⑧	PACプライマーN200	1
⑨	取付要領書	1

※⑤Ｂタッピングスクリュー：６個
⑥Ｕナット：６個
は半組立品に使用しています。
取り外し時に紛失しない様ご注意下さい。

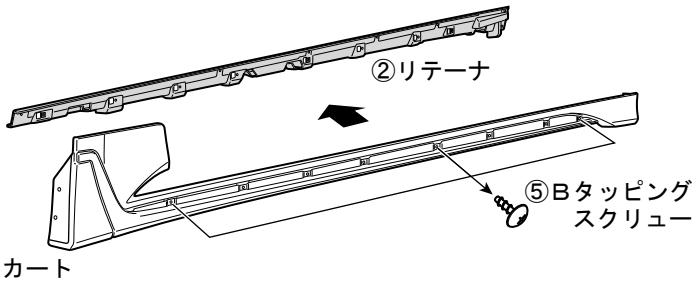
取付概要　ＬＨ図示

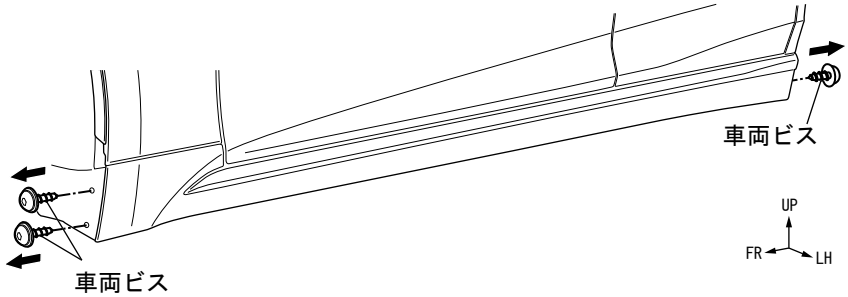


取 付 手 順

(1)サイドスカート部品と車両部品の取り外し

ＬＨ図示　※ＲＨも同様に





1. サイドスカート半組立品から、②リテーナを取り外す。(⑤Ｂタッピングスクリュー３ヵ所を取り外す)

アドバイス

取り外した⑤Ｂタッピングスクリューは再使用しますので、紛失しない様ご注意下さい。

アドバイス

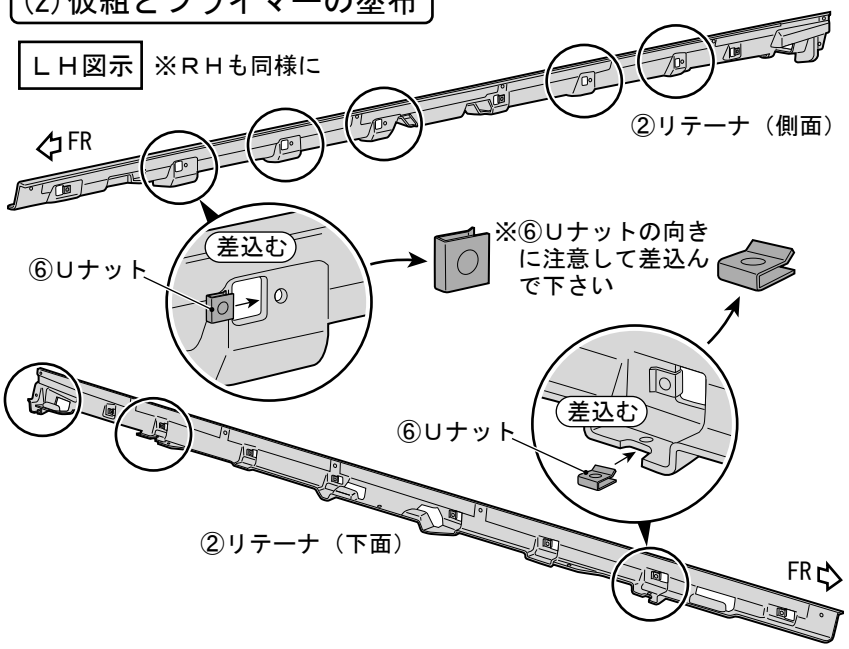
メッキパーツは両面テープで固定されていますので、取り外さないで下さい。

2. 前後フェンダーアーチ部の車両ビスを取り外す。

アドバイス

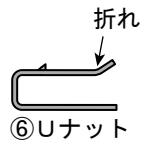
取り外した車両ビスは再使用しますので、紛失しない様ご注意下さい。

(2) 仮組とプライマーの塗布

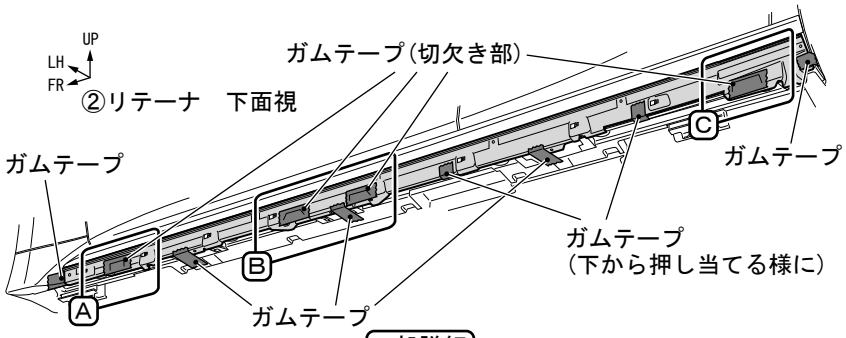


1. ②リテーナに⑥Uナットを差し込む。
（左図○部）
側面：５ヵ所（３ヵ所は取付済み）
下面：３ヵ所

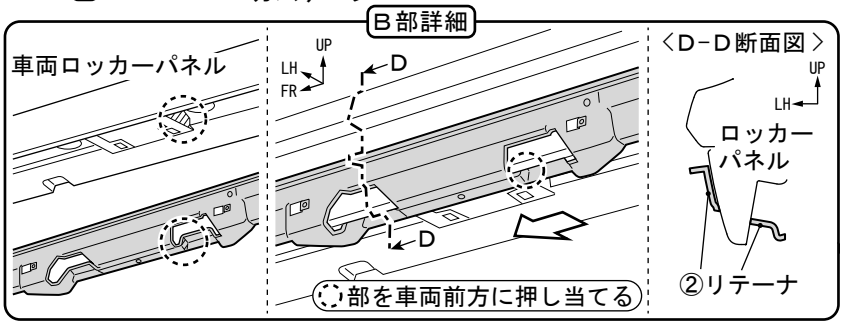
⑥Uナットの差込み



※⑥Uナットの折れに注意して、左図の向きで差し込んで下さい。



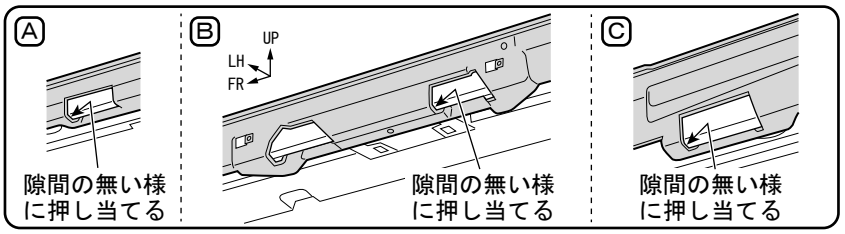
2. ②リテーナ Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ部(左図)の切欠きを、車両ロッカーパネルの側面を挟む様に下方向からかぶせ、下記手順で仮合わせをしてガムテープ等で仮固定する。



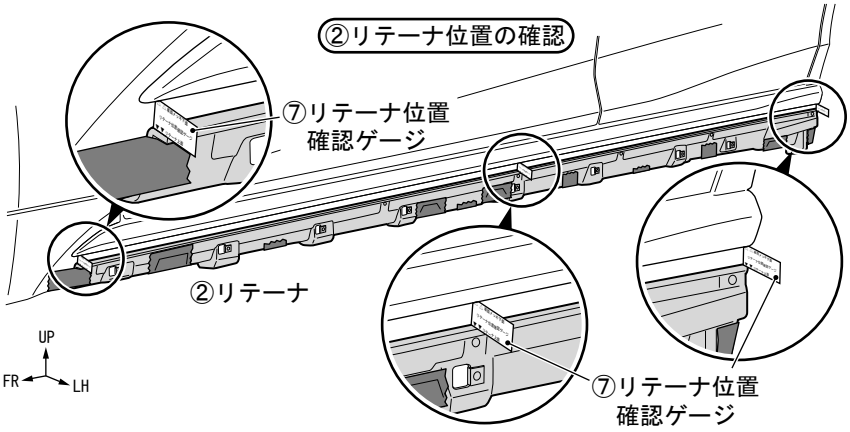
●仮合わせ手順

2-1. **車両前後方向の位置出し**
②リテーナ Ⓑ 部 ◌ 印の面を車両ロッカーパネルの面に合わせ、車両前方向に押し当てる。

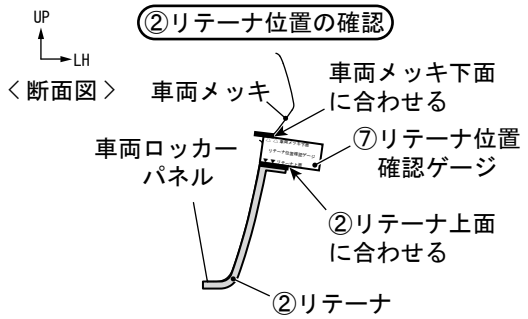
2-2. **車両上下方向の位置出し**
②リテーナと車両ロッカーパネルの間に、隙間の無い様に上方向に押し当てる。（左図指示部確認）

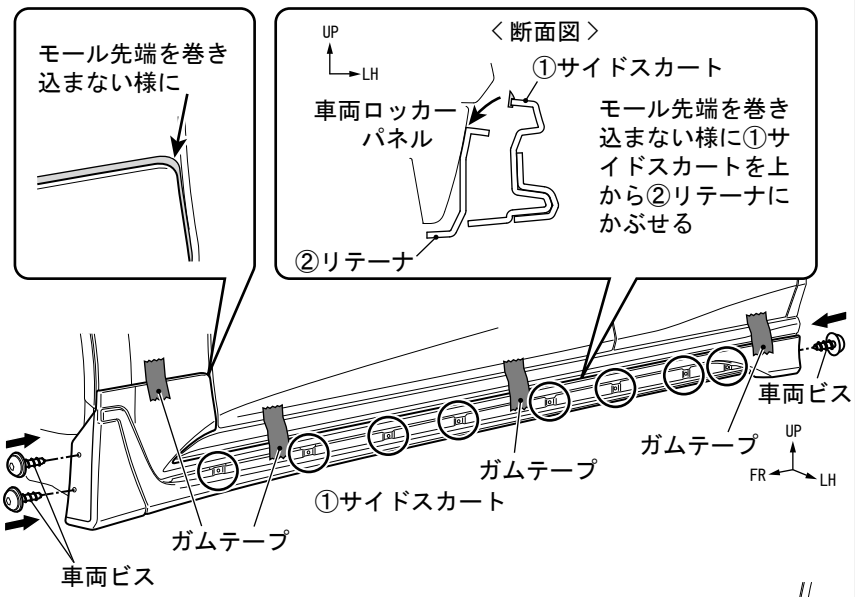


重要：②リテーナ前後の端面と、中央の止め穴の上部(左図参照)の位置で⑦リテーナ位置確認ゲージを車両のメッキ下面と②リテーナ上面に当て、②リテーナ仮固定の位置が正しいか**必ず確認**して下さい。



②リテーナ位置の確認

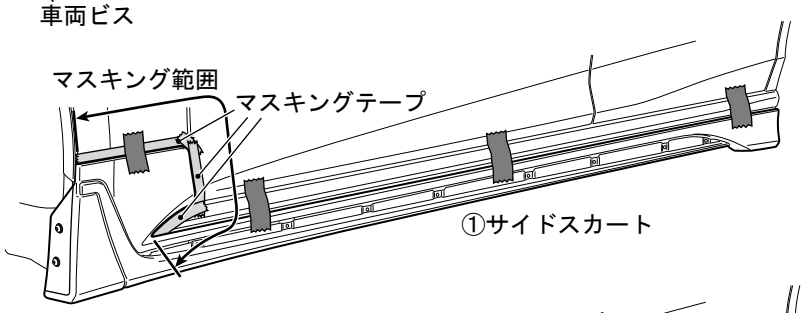




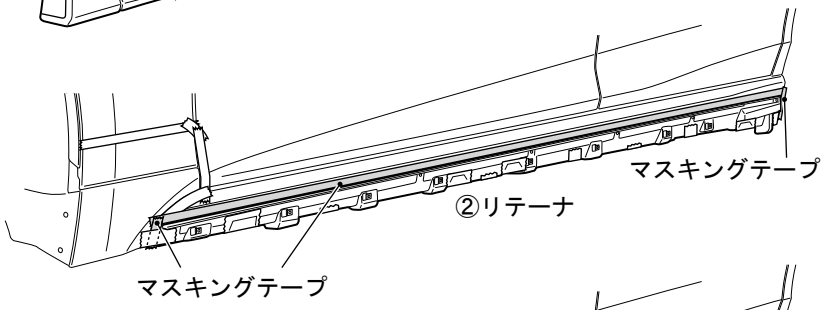
3. ①サイドスカートを②リテーナに乗せる様にかぶせ、前後のフェンダーアーチ部を車両ビスで仮締めする。

4. 前側フェンダー部のエンドモール(以下モールと省略)先端を、巻き込まない様にガムテープ等で仮固定する。

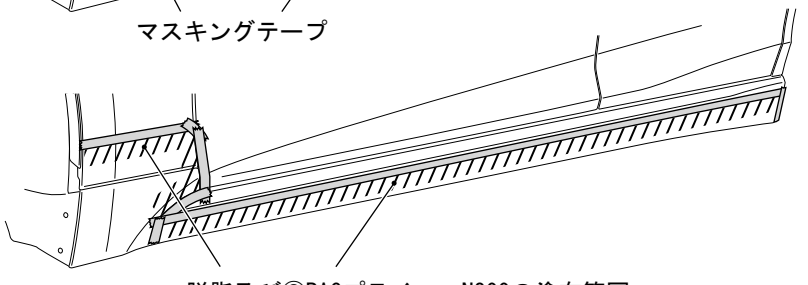
5. ①サイドスカート側面の取付穴 (左図〇部) を、②リテーナの⑥Uナット位置に合わせ、モール先端を巻き込まない様に、ガムテープ等で仮固定する。



6. 前側フェンダー部、左図の範囲を脱脂及びプライマーが、はみ出さない様にマスキングする。 (左図参照)



7. ①サイドスカートを一旦取り外し、②リテーナの上面と前後を、脱脂及びプライマーがはみ出さない様にマスキングする。 (左図参照)

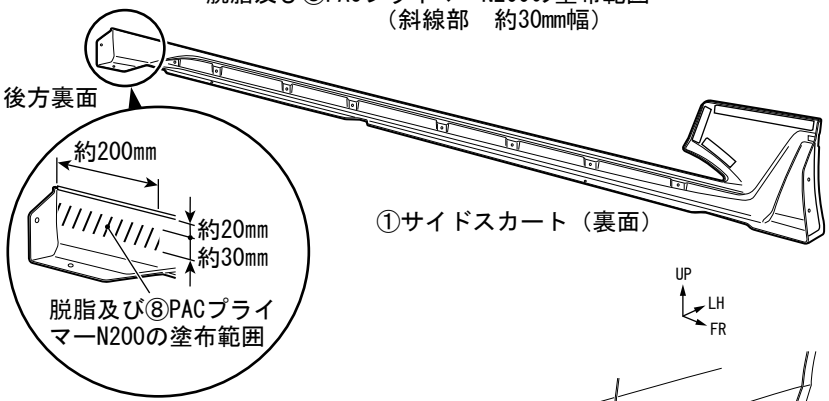


8. ②リテーナを一旦取り外し両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を脱脂する。

9. ①サイドスカート後方裏面の、②リテーナ両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を脱脂する。

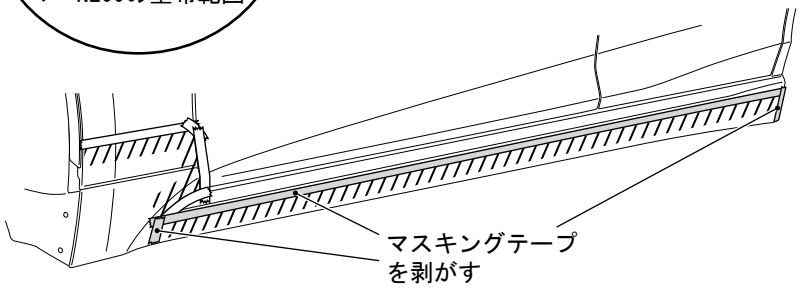
10. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑧PACプライマーN200を塗布する。

※⑧PACプライマーN200はRHの取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し封をし、揮発を抑えて下さい。



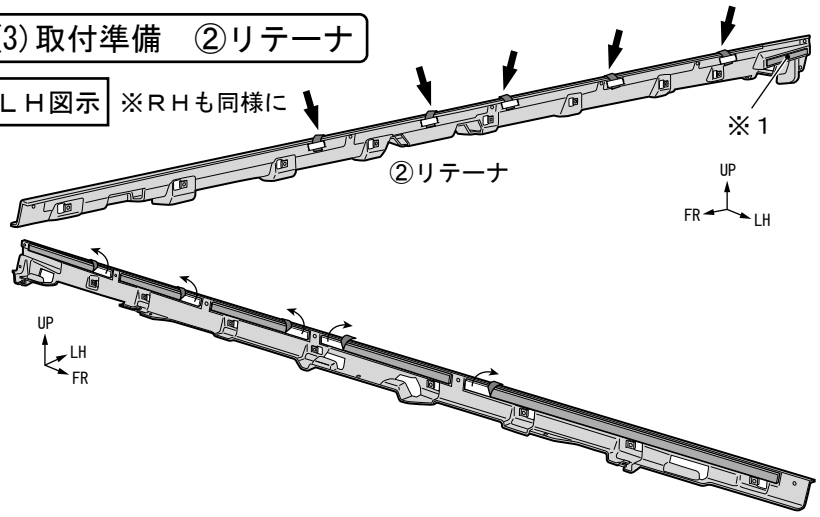
アドバイス

- ⑧PACﾌﾟﾗｲﾏｰN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーはシリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ⑧PACﾌﾟﾗｲﾏｰN200塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。



11. ②リテーナの上面と前後のマスキングテープのみ剥がす。 (左図参照)

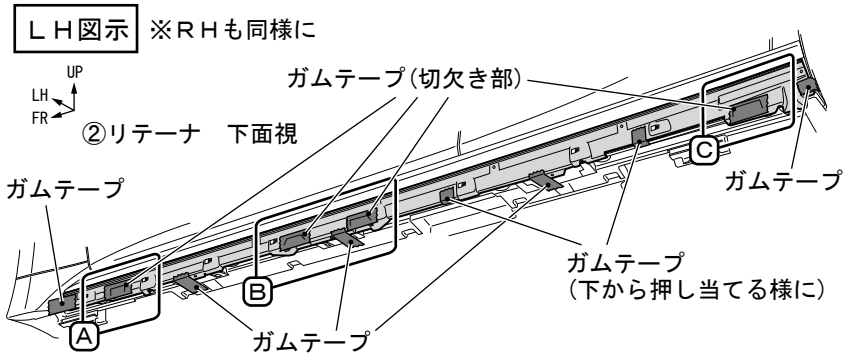
(3) 取付準備　②リテーナ



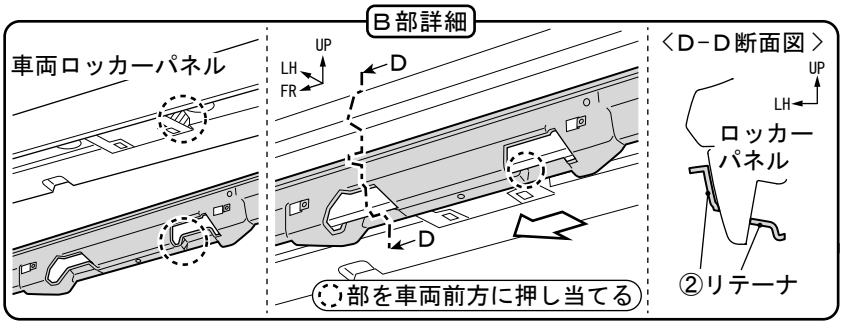
1. ②リテーナの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼付ける。

※1この両面テープは①サイドスカート取り付け用です。
離型紙を剥がさないで下さい。

(4) 取付　②リテーナ

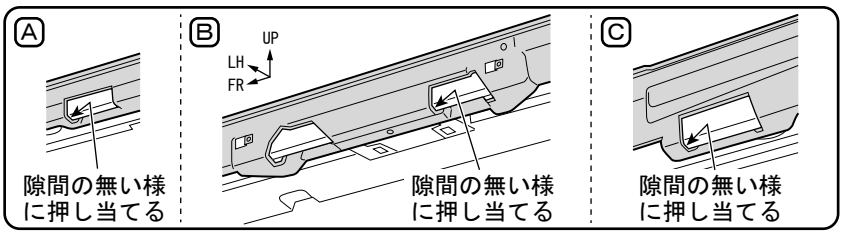


1. ②リテーナを先に行なった、**(2) 仮組とプライマーの塗布**の2●仮合わせ手順で位置を合わせて、ガムテープ等で仮固定する。



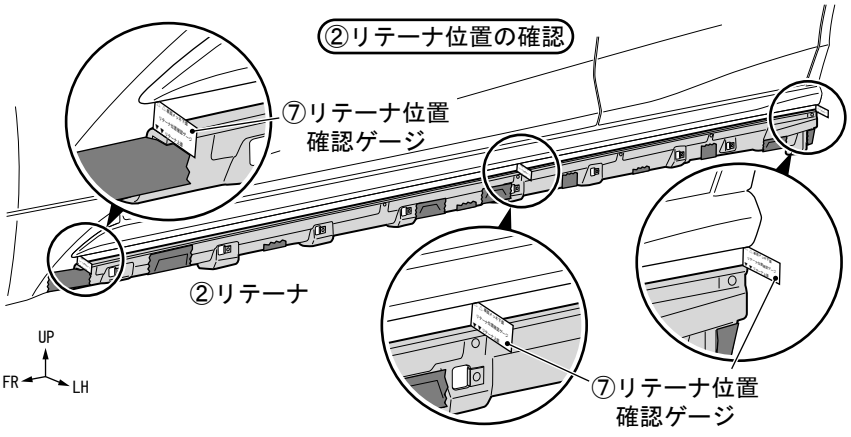
車両前後方向の位置出し

②リテーナ B 部 ◌ 印の面を車両ロッカーパネルの面に合わせ、車両前方向に押し当てる。

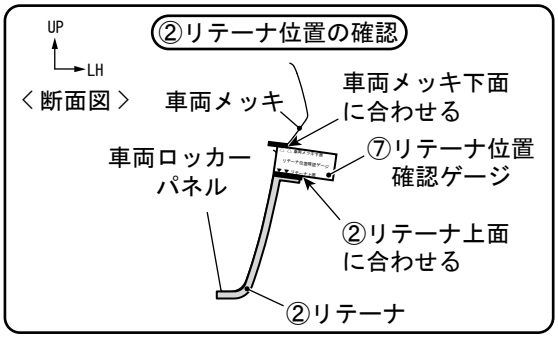


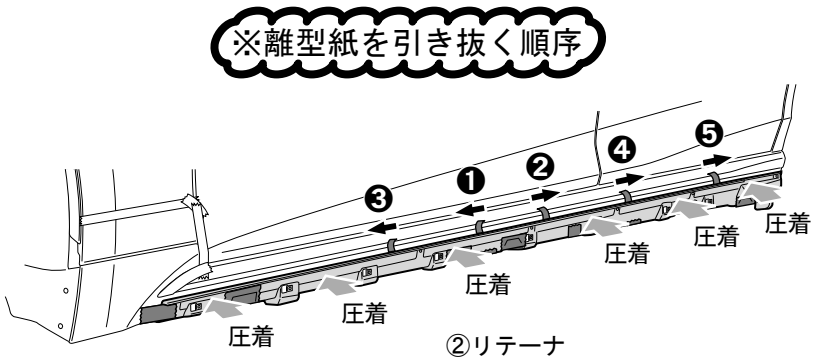
車両上下方向の位置出し

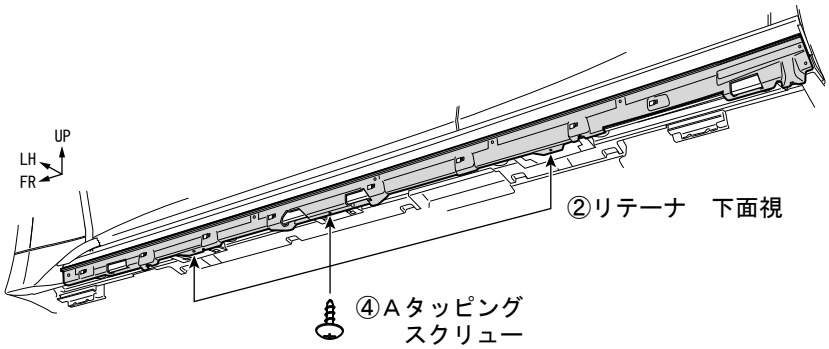
②リテーナと車両ロッカーパネルの間に、隙間の無い様に上方向に押し当てる。(左図指示部確認)

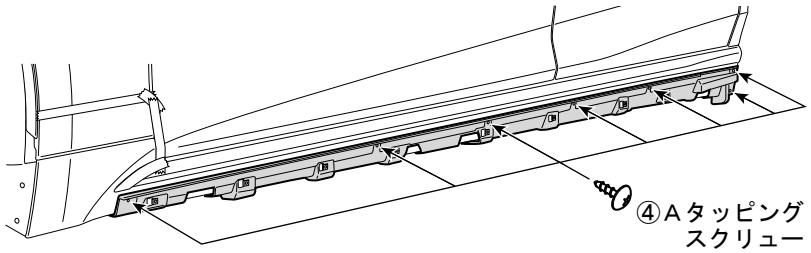


重要：②リテーナ前後の端面と、中央の止め穴の上部(左図参照)の位置で⑦リテーナ位置確認ゲージを車両のメッキ下面と②リテーナ上面に当て、②リテーナ仮固定の位置が正しいか**必ず確認**して下さい。









2. 取付位置が変わらない様に両面テープの離型紙を❶から順に矢印の方向に向かって引き抜き、圧着する。
（左図参照）

※離型紙を引き抜く際に②リテーナの取り付け位置が変わらない様に、下から②リテーナを押し当てて、隙間が無い様に注意して下さい。

アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。設定位置に確実に取り付けてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、②リテーナを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、500kPa(5kgf/c㎡)程度の力で行って下さい。

3. ガムテープを剥がす。

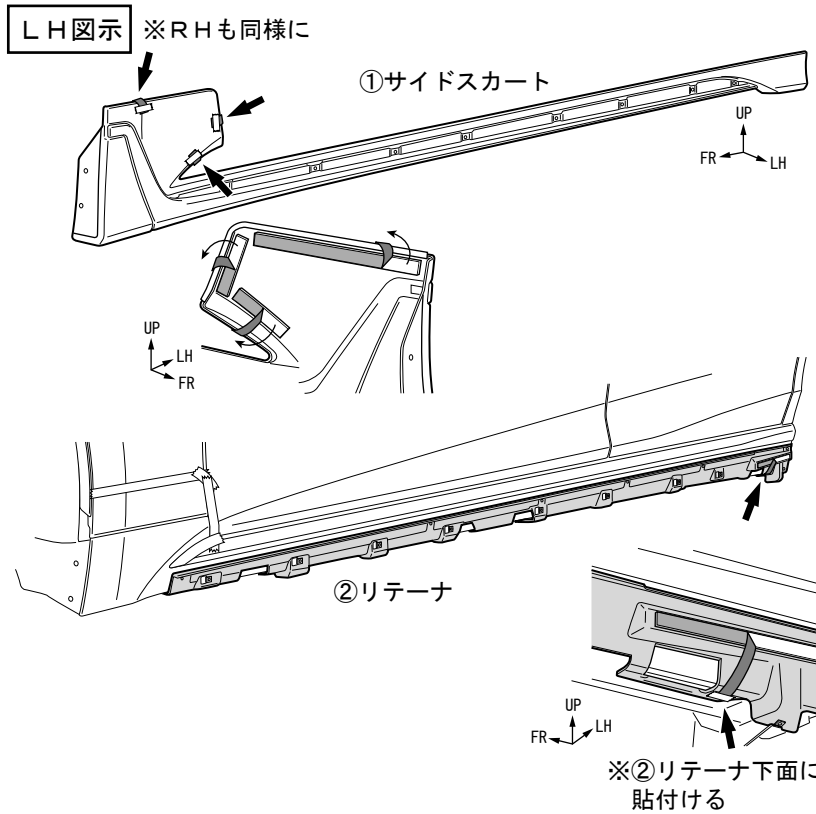
4. ②リテーナ下面の穴位置（３ヵ所）を車両ロッカーパネル下面に④Aタッピングスクリューで固定する。
（左図参照）

5. ②リテーナ側面の穴位置（７ヵ所）を車両ロッカーパネル側面に④Aタッピングスクリューで固定する。
（左図参照）

アドバイス

下穴を開ける際はケガキ針ないしは、画鋲を用いて行なって下さい。

(5) 取付準備　①サイドスカート



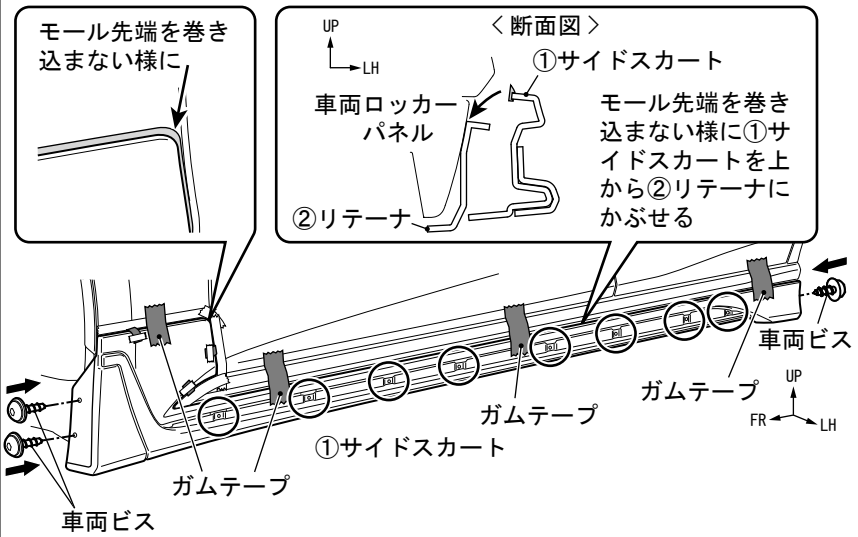
1. ①サイドスカートの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼付ける。

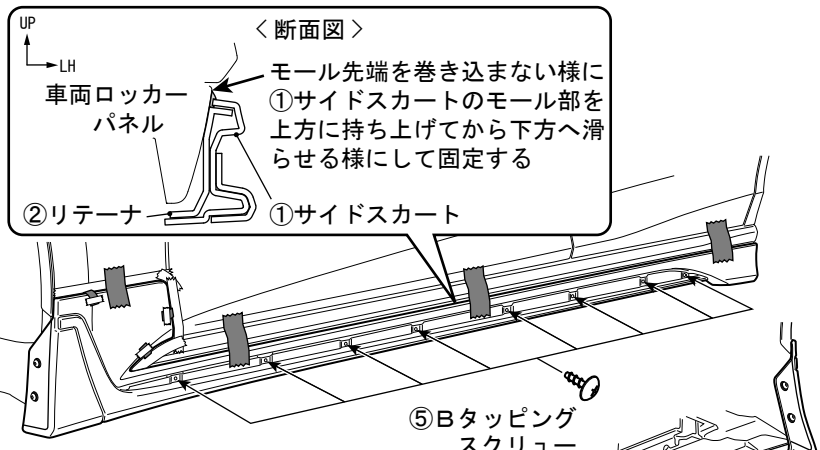
2. ②リテーナ後方の両面テープ離型紙を一部剥がし、②リテーナの下面にマスキングテープで貼付ける。（左図参照）

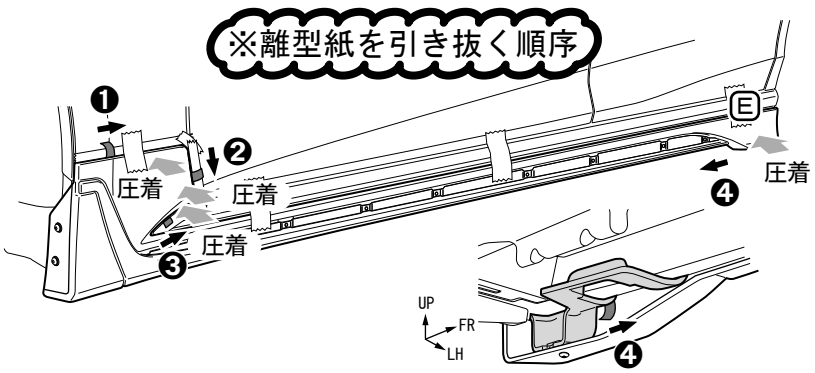
※次の取付手順 (6) 取付①サイドスカートで、この離型紙は裏面下側から引き抜きます。

(6)取付　①サイドスカート

ＬＨ図示　※ＲＨも同様に







重要：後方（上図 Ⓔ）の上面のモール先端部に隙間がある場合、次ページ ⚠注意 の手順で調整して下さい。

1. ①サイドスカートを先に行なった、(2) **仮組とプライマーの塗布** の3.4.5.の手順で位置を合わせて、ガムテープ等で仮固定する。

2. モール先端を巻き込まない様に、注意して、①サイドスカート側面の穴位置（８ヵ所）を②リテーナ側面の⑥Uナットに、⑤Ｂタッピングスクリューで固定する。（左図参照）

3. ①サイドスカート下面の穴位置（３ヵ所）を②リテーナ下面の⑥Uナットに⑤Ｂタッピングスクリューで固定する。（左図参照）

4. 取付位置が変わらない様に両面テープの離型紙を❶から❸の順に矢印の方向に向かって引き抜き、**圧着**する。
❹は下側から、矢印の方向に向かって引き抜き、**圧着**する。
（左図参照）

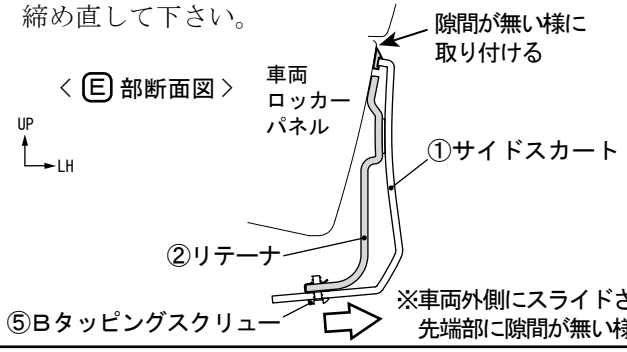
※離型紙を引き抜く際にサイドスカートの取り付け位置が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。設定位置に確実に取り付けてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、①サイドスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、500kPa(5kgf/cm²)程度の力で行って下さい。

⚠ 注意

①サイドスカート後方の上面モール先端部に、隙間がある場合後方１ヶ所は取り付け穴が長穴になっていますので⑤Ｂタッピングスクリューを緩めて、上面モール先端部に隙間が無い様に締め直して下さい。

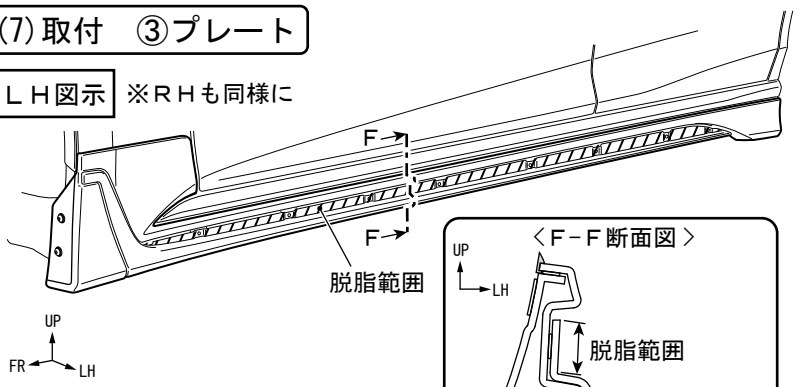


5. マスキングテープ、及びガムテープを全て剥がす。

6. ⑤Ｂタッピングスクリュー全て緩みが無い事を再確認して下さい。

(7) 取付　③プレート

Ｌ Ｈ図示　※ＲＨも同様に



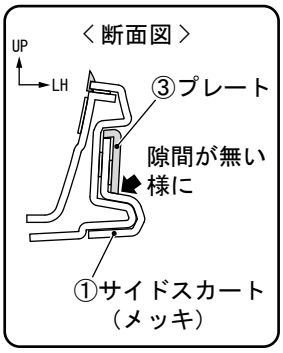
1. ①サイドスカートの③プレート取り付け部を脱脂する。（左図斜線部）

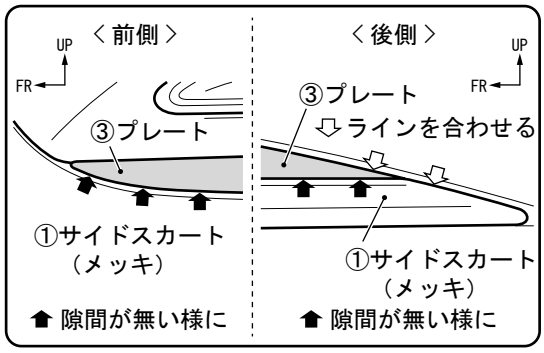
2. 取付位置を確認後、③プレートの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼付ける。

3. ③プレートの下端と①サイドスカート（メッキ）に隙間の無い事を確認し、前後を左図の様に合わせ、マスキングテープ等で仮固定する。

4. 取付位置が変わらない様に両面テープの離型紙を矢印の方向に向かって引き抜き、**圧着**する。（左図参照）
※離型紙を引き抜く際にプレートの取り付け位置が変わらない様に注意して下さい。

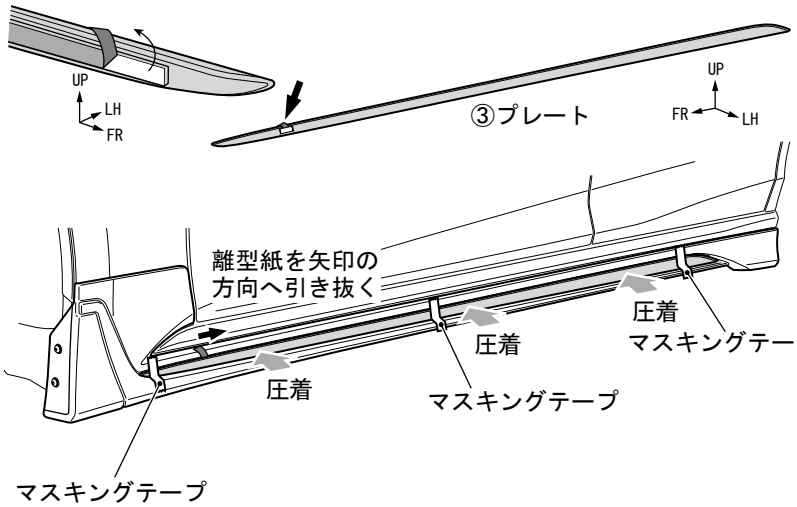
③プレートの位置合わせ





アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。設定位置に確実に取り付けてください。
- 離型紙が途中で切れない様に、③プレートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、500kPa(5kgf/c㎡)程度の力で行って下さい。



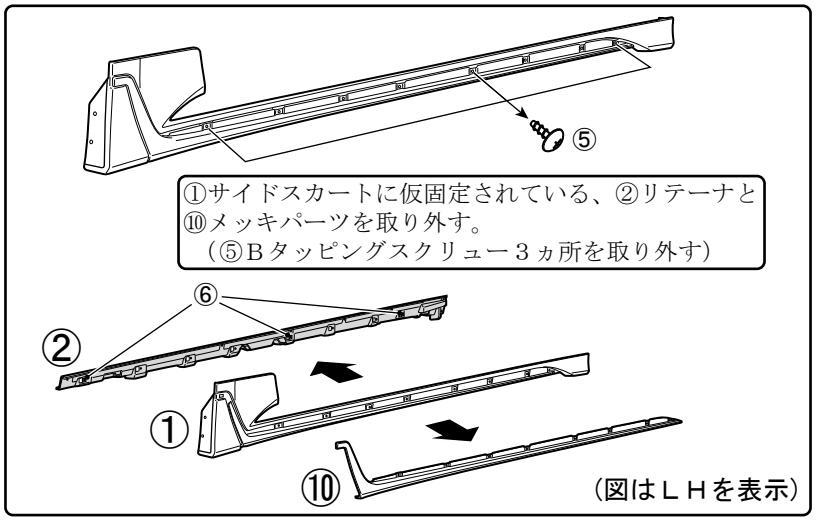
5. ＲＨも同様の手順にて取り付ける。

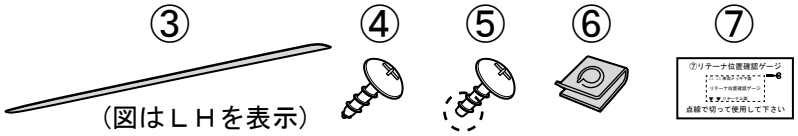
6. 取り付けた左右の①サイドスカートの両面テープ貼り付け位置を**再圧着**する。

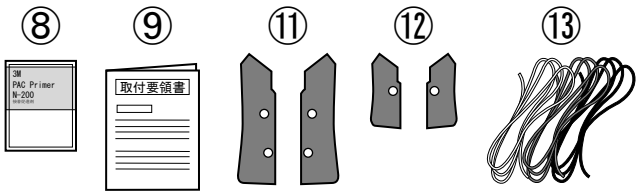
7. 両面テープ貼り付け後、３時間以上放置してから仮締めを全て本締めする。

サイドスカート素地品の塗装手順

構成部品







No.	品　　名	個数
①	サイドスカート（LH/RH）	1set
②	リテーナ（LH/RH）	1set
③	プレート（LH/RH）	1set
④	Aタッピングスクリュー(M4×12)	２０
⑤	Bタッピングスクリュー(M4×11)	１６※
⑥	Uナット（M4）	１６※
⑦	リテーナ位置確認ゲージ	1
⑧	PACプライマーN200	1
⑨	取付要領書	1
⑩	メッキパーツ（LH/RH）	1set
⑪	ブラックアウトシール Fr（LH/RH）	1set
⑫	ブラックアウトシール Rr（LH/RH）	1set
⑬	エンドモール	Lｸﾞﾚｰ：２ ｸﾞﾚｰ：２ ﾌﾞﾗｯｸ：２

※⑤Bタッピングスクリュー：６個
⑥Uナット：６個
は仮固定に使用しています。
取り外し時に紛失しない様ご注意下さい。

⑬エンドモール推奨使用色

色番号	色　名　称	モール色
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	ライトグレー
085	ソニッククォーツ	ライトグレー
1J2	ソニックシルバー	グレー
1J7	ソニックチタニウム	ブラック
1K2	マンガンラスター	ブラック
1L2	ソニックイリジム	グレー
1L3	銀影ラスター	グレー
212	ブラック	ブラック
223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
3R1	レッドマイカクリスタルシャイン	ブラック
3U3	ソニックアゲート	ブラック
4U7	スリークエクリュメタリック	グレー
4X2	アンバークリスタルシャイン	ブラック
8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	ブラック
8X5	ディープブルーマイカ	ブラック

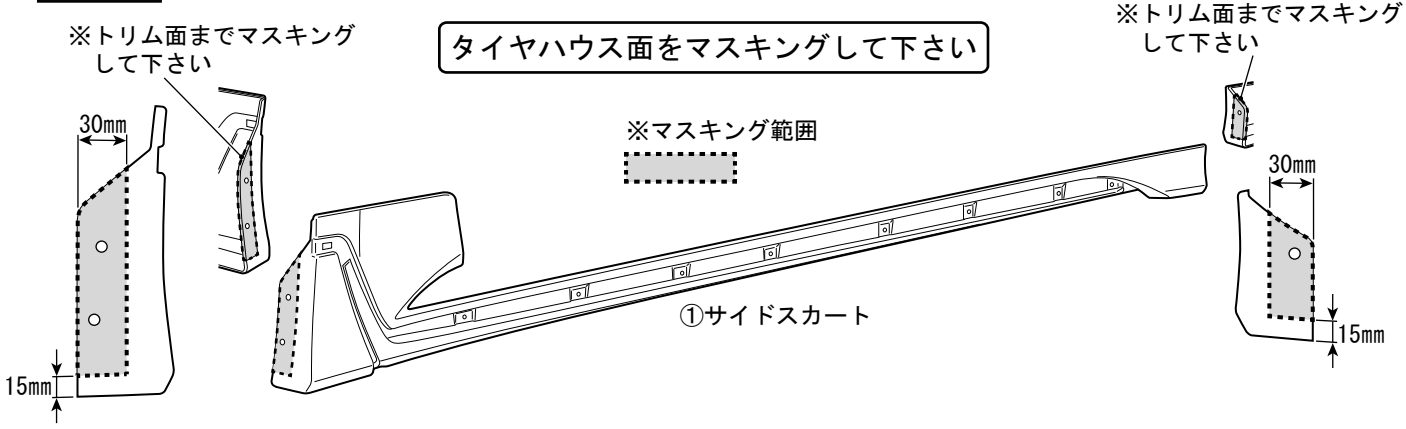
塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は＜ＡＢＳ＞です。

4. 上塗り塗装を行なう。
   ◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥
   ◎注記：乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず６０℃以下で乾燥させて下さい。

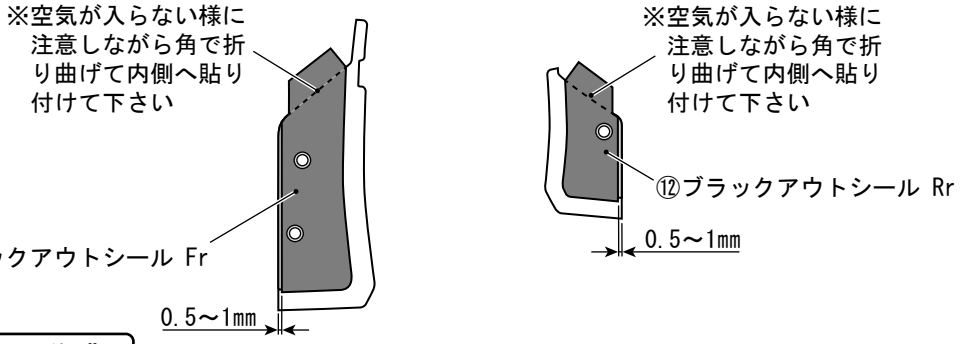
ＬＨ図示　※ＲＨも同様に



ブラックアウトシールの貼り付け作業

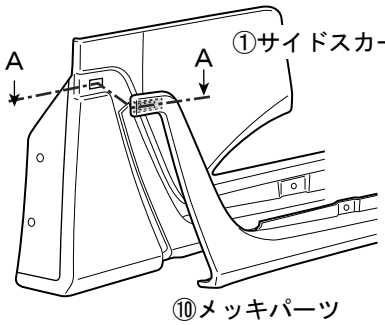
1. 塗装完了後、⑪ブラックアウトシールFr、⑫ブラックアウトシールRrを①サイドスカートの穴位置と合わせ、側面端の隙を０.５～１㎜にして貼り付ける。
上部は、①サイドスカートの上部形状に沿って、空気が入らない様に注意しながら角で折り曲げて、内側の面に貼り付ける。

ＬＨ図示
※ＲＨも同様に

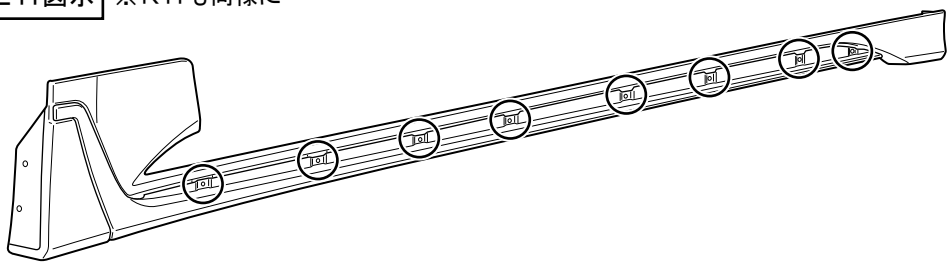


メッキパーツの貼り付け作業

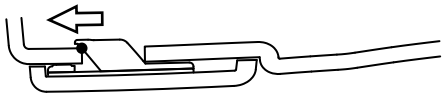
1. ⑩メッキパーツ上部先端のフックを①サイドスカートの角穴に差し込み、側面穴位置（８ヵ所）を合わせて、両面テープ貼り付け位置と取付形状を確認する。



ＬＨ図示 ※ＲＨも同様に

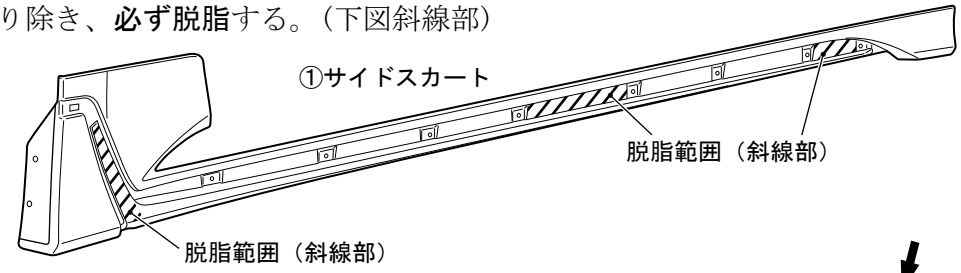


［A－A断面］

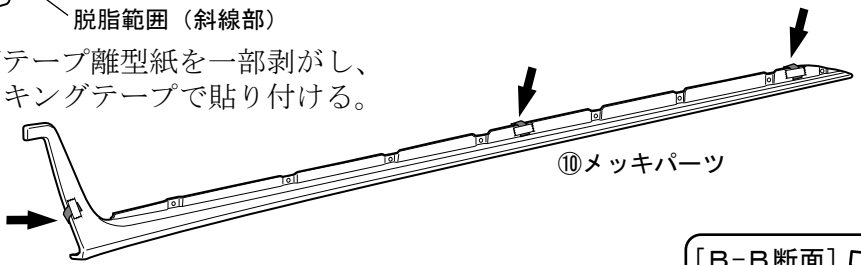


メッキ先端フックを車両前方向にスライドさせ**しっかりと●部を突き当てる。**

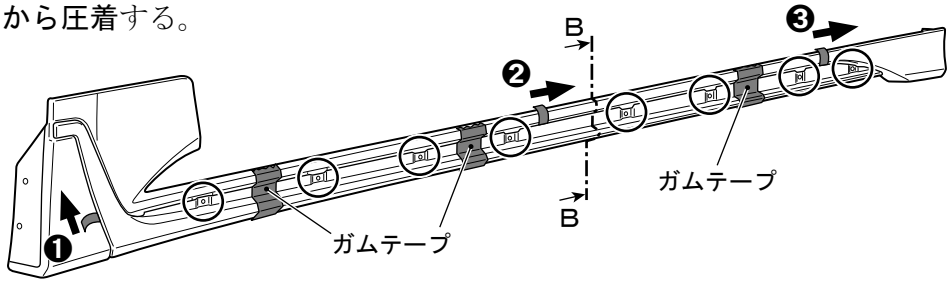
2. ⑩メッキパーツを一旦取り外し、①サイドスカート側のメッキパーツ貼り付け部の汚れ、ゴミ、ホコリ等をウエスで取り除き、**必ず脱脂**する。（下図斜線部）



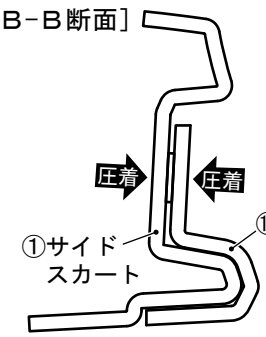
3. ⑩メッキパーツの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返し、マスキングテープで貼り付ける。



4. ⑩メッキパーツ上部先端のフックを①サイドスカートの角穴に差し込み側面穴位置（８ヵ所）を合わせて、ガムテープ等で仮固定する。
5. 位置がズレない様に両面テープ離型紙を❶から順に剥がし、**必ず表と裏から圧着**する。



［B－B断面］

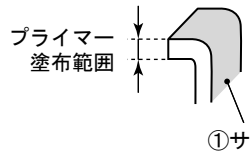


各両面テープ貼り付け部は必ず**表と裏から圧着**する。

エンドモールの貼り付け作業

1. ⑬エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑧PACプライマーN200を塗布する。

PACプライマーN200塗布範囲



アドバイス

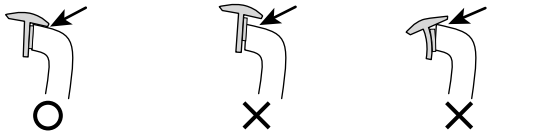
- ⑧PACプライマーN200は①リヤスカート取り付け時に再使用します。
  揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑧PACﾌﾟﾗｲﾏｰN200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、シリコンオフ等で拭き取って下さい。
- ⑧PACﾌﾟﾗｲﾏｰN200塗布後は、常温で**10分間**以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑬エンドモールを貼り付ける。

アドバイス

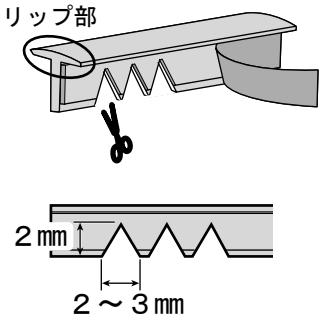
- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。
  絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、充分に圧着して下さい。

奥まで押し込む　隙間が空いている　傾いている



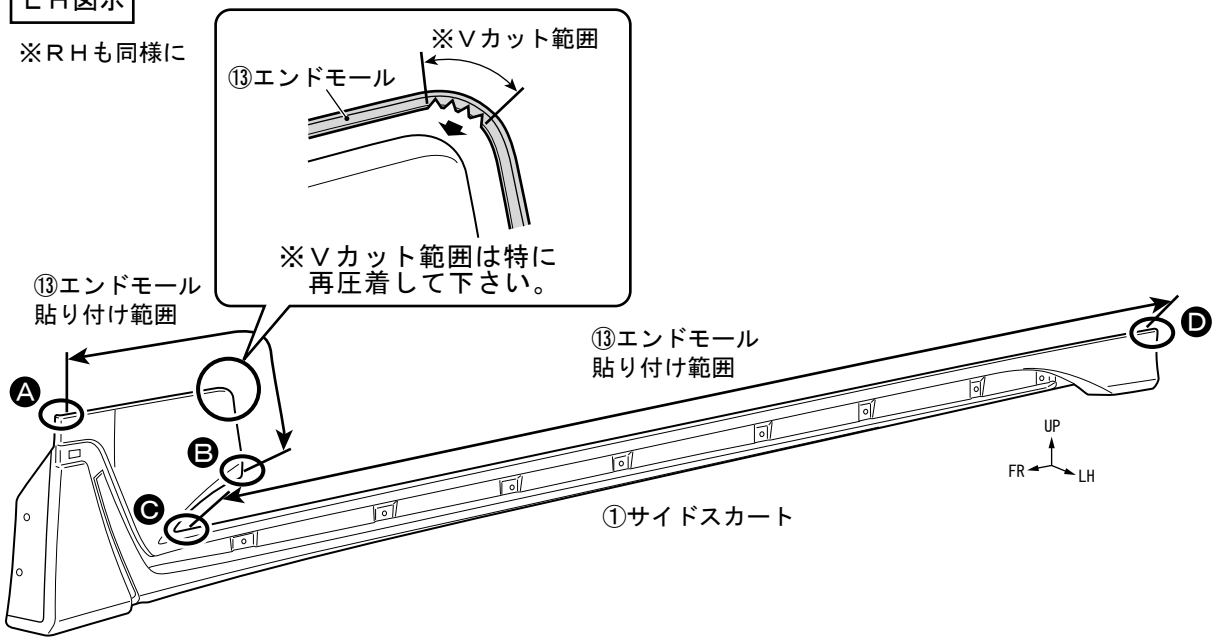
※Vカットの入れ方

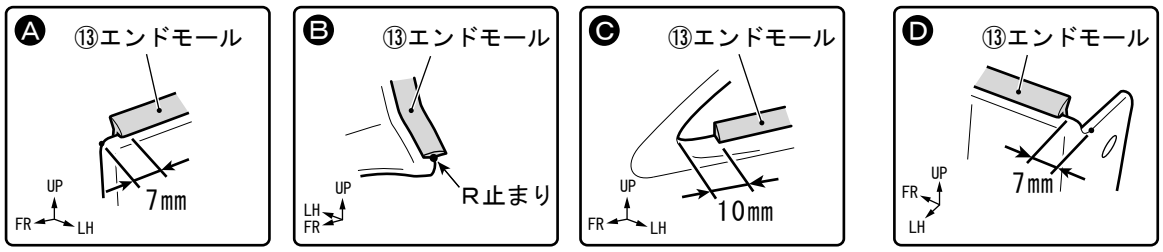
- 必ず**両面テープが付いている側を手前**にしてカットする。
- 離型紙を剥がしながらカットする。
- 大きさ・範囲を確認し、右図**リップ部をカットしない様に注意**する。



LH図示

※RHも同様に

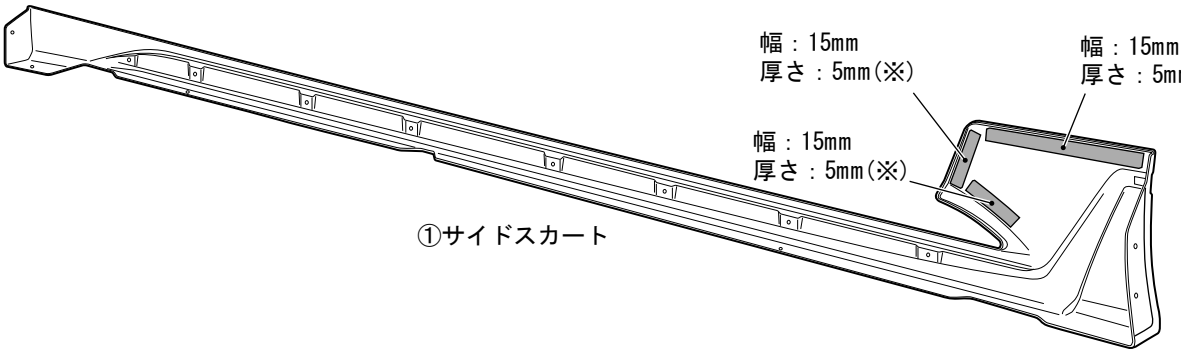




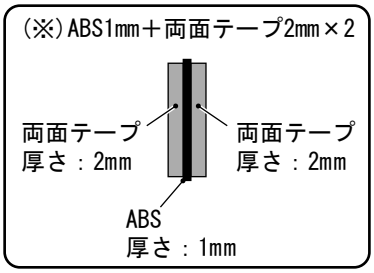
補修キット両面テープ貼り付け

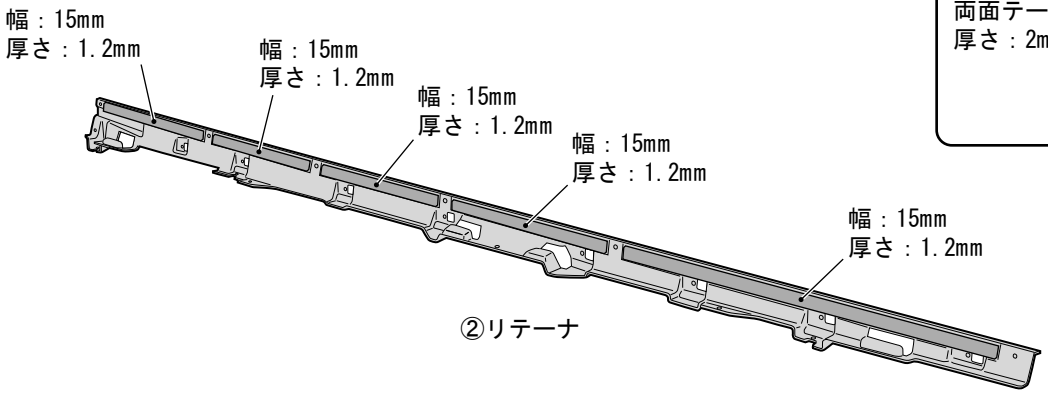
1. 補修キットを使用してサイドスカートの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

ＬＨ図示 ※ＲＨも同様に

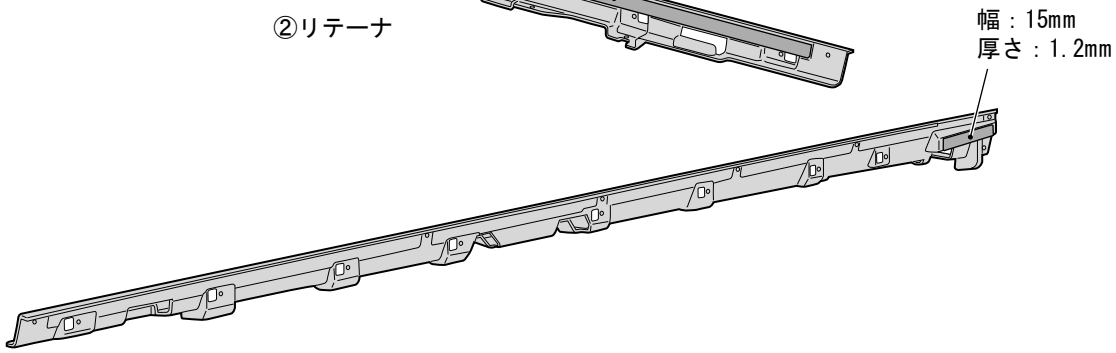


①サイドスカート





②リテーナ



株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
【お問合せ先】
モデリスタコールセンター TEL:050-3161-1000

脱脂作業要領書

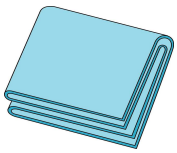
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

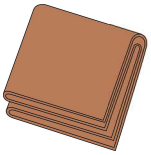
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

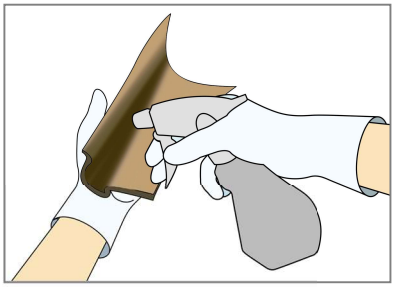

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

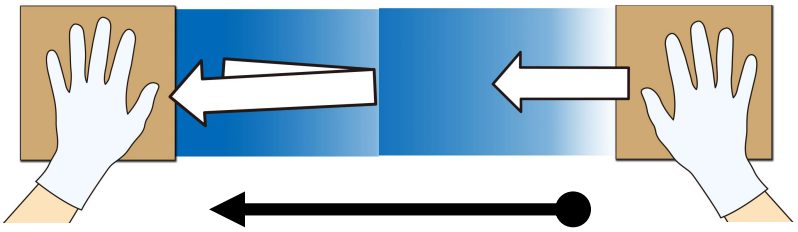


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

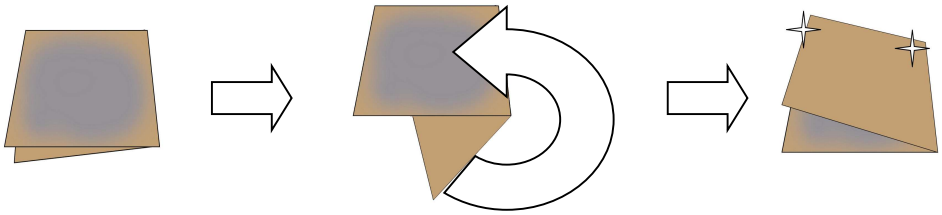
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。